

地域創造学部

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

地域創造学部は、次に定める資質を身につけた者に、学士の学位を授与します。

1. 地域の問題・課題を総合的かつ実証的に考察することができる。
2. 地域の問題・課題の解決策を、主体的に他者との交流・連携・協働の中で構想し、適切な方法で調査・分析・検討をした上で、他者に向けて効果的に発信することができる。
3. 地域という「生活空間」に関係する制度や法、政治、経済、行政、文化などに関する知識と技能を修得している。
4. 地域創造学がもつ学際的な性格を理解し、幅広い教養を身につけている。
5. 「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」の観点から、地域再生や地域振興、地域活性化に関する専門的な理論や知識を修得している。
6. 地域創造に関する自らの関心領域を拡大することができる。

カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施方針)

地域創造学部では、次に示す方針に従い、教育課程を編成し、実施します。

<主体的研究科目群>

1. 実践的な演習・実習系科目と専門的な理論や知識を学ぶ講義系科目を結びつけ、理論・知識の応用と実践によるフィードバックからなる循環性を有した学修を行うことができる科目を配置する。
2. 学びの集大成として、4年間で学修した理論や知識と実践を統合させた「卒業研究」を行い、その成果を発表することを求める。
3. 地域創造に関して学修した知識・技能・態度などを実際に活用させ、実践結果をもとに、不足している知識・技能・態度やより高次の知識・技能・態度を修得する必要性を自覚し、学びの深化や拡大につなげることができる内容を扱う。
4. 授業形態は演習とし、アクティブラーニング、体験型学修などを組み合わせて行う。
5. 学修成果の評価は、試験、レポート、参加度、発表内容等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

<学部共通科目群>

1. 学際的な学問である「地域創造学」の基礎となる知識をバランスよく理解し、幅広い教養と調査・分析のための技能を身につけるための科目を配置する。

2. 本学で扱う「地域創造学」は、「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」の視点を核としているため、それぞれの概略を理解するための科目として、「地域創造学概論」を配置し、専攻科目群の学びに繋がる内容を学ぶ。
3. 授業は、講義を中心に、アクティブラーニング、体験型学習などを、適宜、組み合わせて行う。
4. 学修成果の評価は、試験、レポート、参加度、発表内容等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

<専攻科目群>

1. 「地域創造学」の核となる「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」の観点から、専門的な理論や知識を学ぶための科目を配置する。
2. 専門的な理論や知識を学ぶ講義系科目と実践的な演習・実習系科目を結びつけ、理論・知識の応用と実践によるフィードバックからなる循環性を有した学修を行う。
3. 学生自身がそれぞれ最も関心のある分野から、学びの中心軸となる知識や視点を学修しつつ、他の分野の科目も幅広く履修することで、「地域創造学」の学際的な性格を踏まえながら、専門知識を深く学修することができる体制をとる。
4. 各科目は、授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学修などを、適宜、組み合わせて行う。
5. 学修成果の評価は、試験、レポート、参加度、発表内容等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

<発展科目群>

1. 「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」の4つの視点到留まらず、幅広い見識と視野を獲得し、また、学生の進路につなげるための科目を配置する。
2. 各科目は、授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学修などを、適宜、組み合わせて行う。
3. 学修成果の評価は、試験、レポート、参加度、発表内容等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れ方針)

地域創造学部は、「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」に関する学修を通じて、幅広い専門知識と教養を身につけ、職業人として、また地域の生活者として、生涯にわたり学び続けるとともに、持続可能な地域・社会を創造することに主体的に参画する地域イノベーション人材を養成することを目的としています。

この目的を実現するために、地域創造学部では、以下に示す関心や意欲、幅広い基礎知識をもっている者を求めます。

- (1) 主体性をもって地域の様々な人や団体と連携・協働し、地域・社会に新たな価値を創造することや、より豊かな地域・社会を形成すること、持続可能な社会の創造に高い関心をもっている。

- (2) 家族や学校、近隣地域など自身が所属する社会(コミュニティ)において、政治・経済・行政・文化・福祉など日常的に展開される諸活動や社会(コミュニティ)を取り巻く問題・課題を考えることに高い関心をもっている。
- (3) 地域政策や地域経済、中小企業の活動などに関心をもち、卒業後に、地域活性化に関わる自治体や企業で活躍したいという強い意欲をもっている。
- (4) 暮らしをとりまくさまざまなデザインに関心をもち、卒業後に、地域の特性を踏まえた、都市インフラや居住空間、福祉、地域コミュニティを守り、育て、創造する分野で活躍したいという強い意欲をもっている。
- (5) 観光産業の基盤となる自然・文化・くらしといった地域資源に関心をもち、卒業後に、観光を通じて持続可能な社会の実現を目指す分野に従事したいという強い意欲をもっている。
- (6) フードシステムや食文化などに関心をもち、卒業後に、食資源を活用した地域づくりに従事したいという強い意欲をもっている。

地域創造学は、経済学や経営学、社会学など複数の学問分野にまたがる学際的な学問です。加えて、地域(ローカル)を考えるためには、グローバルな視点も必要です。

そのため、国語・数学・地理・歴史・政治経済・公民・英語など幅広い科目の知識を身につけ、基本的な理解をしていることが必要です。

具体的には、地域の特色をとらえ、地域の問題・課題の解決策を考えるためには、地理・歴史・政治経済・公民といった知識が求められます。様々な地域を比較、分析するには基本的な数学の知識が必要になる場面もあります。

また、文章を正しく理解し、正確なコミュニケーションを図るためには、国語や英語の知識とその運用能力が必須となります。これらの能力は地域創造学を学ぶ上で、ぜひ身につけておきたい能力です。